学校長あいさつ

本校のホームページを御覧いただき、誠にありがとうございます。

令和３年４月１日に着任しました行徳と申します。どうぞ、よろしくお願いします。

一昨年度末から昨年度初めは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため長期に渡る臨時休業となり、御不安、御心配の日々を過ごされたことと思います。本年度も依然として新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況にあり、児童生徒の健康・安全を第一に学校行事等の諸活動を変更することがあるかと思いますが､「新しい生活様式」のもと、感染防止のための環境整備や活動内容の工夫をしながら「子どもたちの学びを止めない」ことを念頭に、教職員一丸となり取り組んでいきます。御家庭等におかれましても、引き続き感染防止対策について御協力をお願いします。

さて、本校は、昭和 54 年に知的障がいを有する児童生徒を対象として、小学部、中学部、寄宿舎を設置する筑後養護学校として開校しました。昭和 55 年には高等部が設置され、本県が策定した「県立特別支援学校の整備に関する計画」に基づき、平成 22 年４月に筑後特別支援学校と校名を改め、今年度で創立 43 年目を迎えます。現在、全校児童生徒数は２８０名（小学部８３名、中学部６１名、高等部１３６名）で、子どもたちは、それぞれの目標に向かって日々学校生活を送っています。

本校は､「明るく やさしく たくましく」の校訓のもと、学校教育目標を「児童生徒一人一人のよさをみつめ、伸ばし、たくましく生き抜く力を育む」としています。この学校教育目標の実現を図るために、今年度の学校経営方針として次の２点を挙げています。

① 教育活動全体を通じて、教職員が子どものための気づきを大切にし、その気づきを共有することで､「チーム筑特」による組織的な協働体制を推進する。

② 12 年間の一貫した継続性のある指導・支援の充実、教育環境の整備、教職員の専門性の向上を図り、特別支援教育を推進する。

本校では、児童生徒の自立と社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばすとともに、生活や学習上の困難を克服することを目指して、適切な指導と必要な支援に努めてまいります。また、地域の学校との交流及び共同学習を推進し、共生社会の基盤づくりにも取り組みながら、さらには、医療、保健、福祉、労働等の関係機関と連携し、本校の教育活動を充実させるとともに、地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮に努力していきたいと考えています。

保護者の皆様並びに地域・関係機関等の皆様におかれましては、今後とも、本校の教育活動への御支援と御協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和３年４月

福岡県立筑後特別支援学校長　行徳（ぎょうとく）　康栄（やすえ）